

# 定格

△注意:この頁は安全確保のために必ずお読みください

**チューナー部**  
 FM受信周波数範囲 ..... 76MHz~108MHz  
 AM受信周波数範囲 ..... 530kHz~1,620kHz

**アンプ部**  
 実用最大出力 ..... 0.8W+0.8W

**CDプレーヤー部**  
 読み取り方式 ..... 非接触光学式読み取り  
 ワウ・フラッター (EIAJ) ..... 測定限界以下

**カセットデッキ部**  
 トラック方式 ..... 4トラック2チャンネルステレオ  
 録音方式 ..... 交流バイアス  
 ヘッド 録音/再生用 ..... 1  
 消去用 ..... 1

**総合**  
**電源**  
 交流 ..... AC100V, 50Hz/60Hz  
 直流 ..... DC 9V (単二乾電池×6本)  
 定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) ..... 10W  
 電池持続時間 (アルカリ単二乾電池使用、参考値)  
 CD再生時 ..... 約 9時間  
 テープ再生時 ..... 約 24時間  
 ラジオ受信時 ..... 約 35時間  
 最大外形寸法 ..... (幅) 330×(高さ) 172×(奥行) 215mm  
 本体質量 (重量) ..... 2.1 kg (乾電池含まず)  
 付属品 電源コード ..... 1

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。  
 ● 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド  
 〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6  
 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
 お客様相談室 (東京) 電話 (03)3477-5335 〒153-0042  
 東京都目黒区青葉台 3-17-9  
 (大阪) 電話 (06)6394-8085 〒532-0034  
 大阪市淀川区野中北2-1-22

# KENWOOD

ポータブルマイクロCDシステム

## PMS-J1

### 取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。  
 機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の「安全編」をお読みになり、十分にご理解ください。  
 使い方の説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。  
 また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。  
 本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
 KENWOOD CORPORATION



B60-4858-08 02 (J) (J) 0005

## 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

### 保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されており、保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。  
 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

### 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。  
 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理に関するご相談ならびにご不明な点には

修理に関するご相談ならびにご不明な点には、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

### 出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

### 修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

### 修理をご依頼になるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

### お買い上げ店名

電話 ( )

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社のポータブルオーディオ機器全般についての内容を記載しています。  
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります)

## 絵表示について

この取扱説明書(安全編)では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 警告

### 交流100ボルト以外の電圧では使用しない



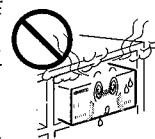
この機器は、交流100ボルト専用です。指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

### 放熱に注意



設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですのでふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭いところに押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

### 風呂、シャワー室では使用しない



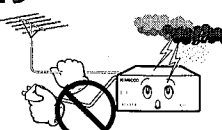
風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の原因となります。



### 雷が鳴り始めたら



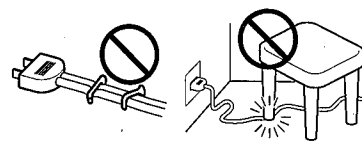
アンテナや電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。



### 電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようご注意ください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかず重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災や感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら  
電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



### 異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチをきり、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。  
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



### 電源プラグは清潔に



電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



### 機器の内部に水や異物を入れない



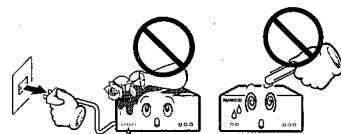
機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。こぼれて中にはいると、火災・感電の原因となります。



機器の通風孔、開口部から内部に金属物や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

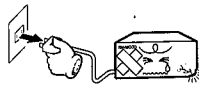


内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。




**落下した機器は使わない**

落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



**ケースを絶対に開けないでください**

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。点検、修理は販売店またはケンウッド営業所にご依頼ください。

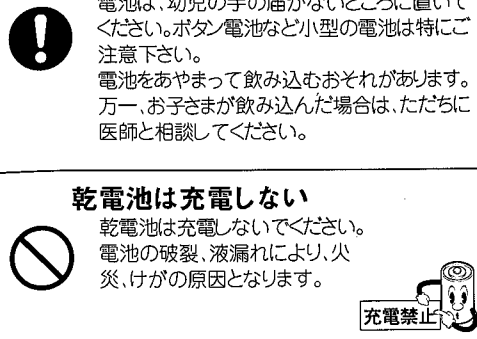


**電池は放置しない**

電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

**乾電池は充電しない**

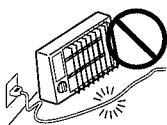
乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



注意


**電源コードを熱器具に近付けない**

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。




**湿気やほこりのある場所に置かない**

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。



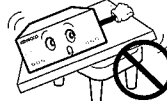
**長期間使用しないときは**

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。




**不安定な場所には置かない**

くちついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。




**温度の高い場所には置かない**

窓を開めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



**音量に気をつけて**

はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて、聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

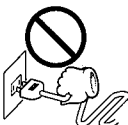


**電源プラグの抜き差しは**


濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでゆりみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。




電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差込が不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



**電池の取扱い**


電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+")とマイナス"-)の向き)に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。
- 電池や電池ケースは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピン等と一緒に携帯、保管しないでください。
- 長期間使用しないときや、常時ACアダプターで使用する場合は、電池を取り出しておいてください。
- 液漏れが発生した場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体に付着した場合は、水でよく洗い流してください。




**レーザー光線はのぞかない**

レーザー光線をのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。



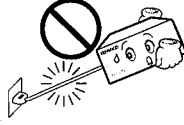
**ひび割れたディスクは使わない**

ひび割れ、変形、または接着剤などで修復したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。




**移動させる際は**

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。




**指定以外のコードを使わない**

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は、指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。



**機器に乗らない**


この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



**お手入れの際は**


お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因になることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。



**指をはさまない**

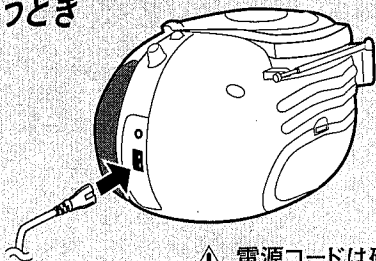
お子様がカセットテープ、ディスクの挿入口に、手を入れないよう、ご注意ください。指がはさまれて、けがの原因となることがあります。



# 電源について

## 家庭用電源で使うとき

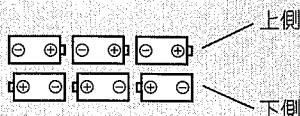
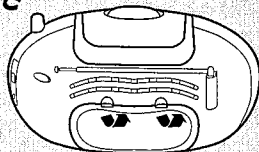
付属電源コード  
AC100V、50/60Hz  
電源コンセント



⚠ 電源コードは確実に差し込んでください。

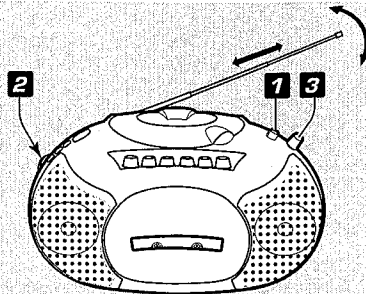
- 電源コードを接続しているときは、乾電池では動きません。

## 乾電池で使うとき



- +, - の極性に注意して入れてください。
  - ⚠ 乾電池6本のうち、1本を逆に接続すると、大変危険です。絶対に逆に入れてください。
  - 市販の単二乾電池(LR14/R14)をご使用ください。
  - CDの再生をするときや、大切な録音をするときは、なるべく家庭用電源をお使いください。
- 電池の交換時期について
- 電池が消耗してくるとCD表示部が薄くなります。そのときは、一度に6本とも交換してください。

# 放送を聴く



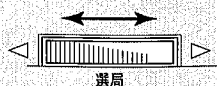
FM放送の受信中は背面のアンテナを動かして、一番受信状態のよい方向に向けます。  
AM放送を受信中は本体の向きをかえて、一番受信状態のよい方向に向けます。

## 1 放送バンドを選ぶ

- FMまたはAMを選びます。



## 2 放送周波数を選ぶ



## 3 音量を調整する



- 電源を切るときは、入力切換つまみを「電源切り」にします。

# ヘッドホンで聴くとき

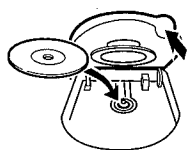


- ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。
- スピーカーで聴くときはヘッドホンを外してください。

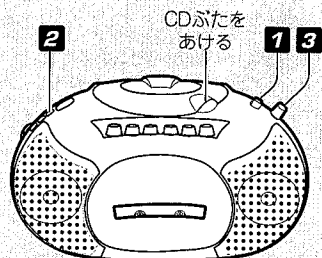
# CDを聴く

ディスクをトレイに入れます。

ラベル面を上に入れる

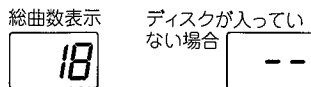


- ふたを確実にしめてください。



## 1 CDに切り換える

- ディスクの情報が読み込まれると、総曲数が表示されます。



## 2 再生を始める

再生中の曲番表示

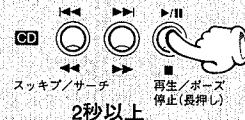


## 3 音量を調整する



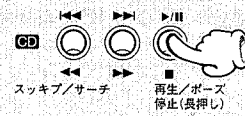
### 再生を止める

- 再生中または一時停止中に2秒以上押し続けます。



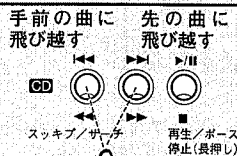
### 一時停止する

- 表示が点滅します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。



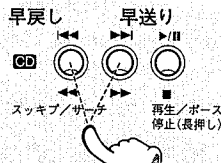
### 曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀/▶▶ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。



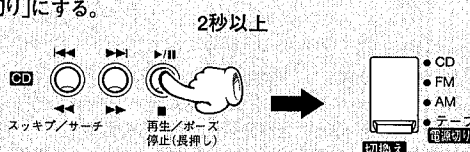
### 早送り、早戻りする

- 再生中にキーを押し続けます。
- 手を離れたところから再生を始めます。



### 再生を終了するとき

- 再生を止め、CDふたを開けて、ディスクを取り出す。
- 「電源切り」にする。

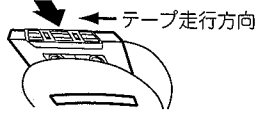


# 録音をする

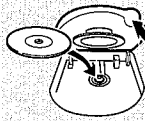
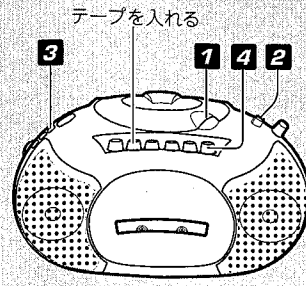
## CDを録音する

本機はノーマルテープのみ正常に録音できます。

■/▲停止/取出しボタンを押してカセットフォルダーを開け、テープを入れます。



- カセットの厚いほうを上に入れてください。
- ふたを確実にしめてください。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。



### 1 ディスクを入れる

- ラベル面を上に入れて、ふたを確実にしめます。



### 2 CDに切り換える



### 3 録音したい曲にする

- ◀▶キーを押して、曲を選ぶ。
- ▶|||キーを押してCDを一時停止状態にする。



### 4 録音を開始する

- テープの録音(●)ボタンを押した後、CDの再生(▶|||)キーを押す。
- 録音レベルは自動的に調整されます。

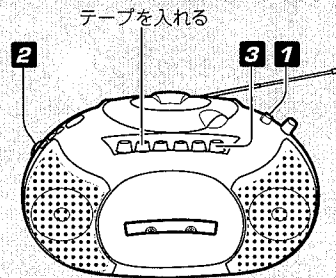
## 録音を停止するときは

- CD部の▶|||/■キーを2秒押ししてCDを停止させ、テープ部の■/▲ボタンを押して、テープを止めます。
- 電源を切るときは、入力切換つまみを「電源切り」にします。

## 録音をする

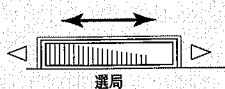
## 放送を録音する

テープを入れる。([CDを録音する]を参照してください。)

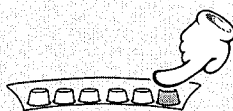


### 1 放送バンドを選ぶ

- FMまたはAMを選びます。



### 2 放送局を選ぶ



### 3 録音を開始する

- 録音レベルは自動的に調整されます。

## 録音を停止するときは

- テープ部の■/▲ボタンを押して、テープを止めます。
- 電源を切るときは、入力切換つまみを「電源切り」にします。

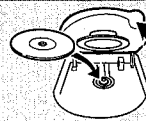
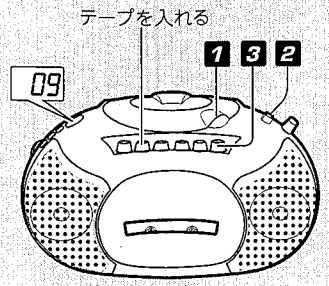
## CDシンクロ録音をする

本機はノーマルテープのみ正常に録音できます。

テープを入れる。([CDを録音する]を参照してください。)

テープの録音をスタートすると自動的にCDがスタートします。また、曲の最初がとぎれないように最初に無録音部分が作られます。

ご注意：表示部にSYNCマークが点灯している時は常に約7秒の無音録音をおこないます。



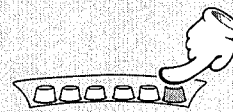
### 1 ディスクを入れる

- ラベル面を上に入れて、ふたを確実にしめます。



### 2 CDに切り換える

- 総曲数の表示が出ることを確認してください。



### 3 録音を開始する

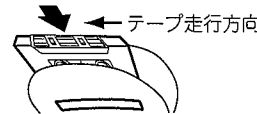
- テープのRECボタンを押すと約7秒間無音録音され、その後、CDの再生が開始されます。
- 録音レベルは自動的に調整されます。

## 録音を停止するときは

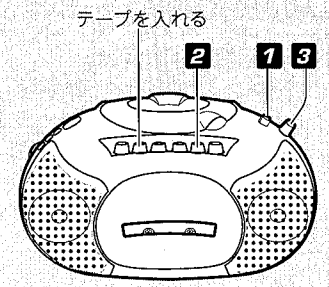
- テープ部の■/▲ボタンを押して、テープを止めます。CDは一時停止状態になります。
- ▶|||/■キーを2秒押しするとCDは停止状態になります。
- 電源を切るときは、入力切換つまみを「電源切り」にします。

## テープを聴く

■/▲ボタンを押してカセットフォルダーを開け、テープを入れます。



- カセットの厚いほうを上に入れてください。
- ふたを確実にしめてください。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。



### 1 テープに切り換える

- 本機はノーマル(TYPE I)テープのみ正常な再生ができます。



### 2 ◀再生ボタンを押す



### 3 音量を調整する

## 再生を止めるときは



一時停止する	ボタンを押す
一時停止の解除	再度     ボタンを押す
巻戻し	◀▶ ボタンを押す
早送り	▶▶ ボタンを押す

早送り、巻戻しでテープが最後まできたときは■/▲ボタンを押して、停止させてください。

